

琵琶湖定点定期観測結果速報(令和7年10月)

数値は速報値であり、確定値ではありませんので、ご留意下さい。

調査年月日 令和7年10月14日

調査地点 彦根市～高島市安曇川町に至る5地点
(ただし、湖岸水温は彦根市八坂町
滋賀県水産試験場池先における測定値)



調査地点図

調査結果

平均値 …… 5地点の平均値

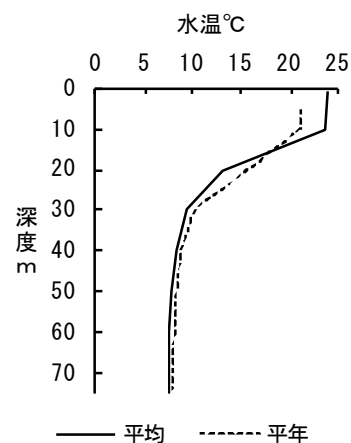
平年値 …… 透明度、湖水温、湖岸水温、プランクトン沈殿量は1991年～2020年(平成3年～令和2年)の同時期調査の平均値
DO(溶存酸素濃度)は2015年～2024年(平成27年～令和6年)の同時期調査の平均値

1. 透明度 10月平均値 5.2m 平年値 5.7m

2. 湖水温 (°C)

深度(m)	10月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0.5	23.8	21.0	+2.8
10	23.6	20.9	+2.7
20	13.1	15.7	-2.6
30	9.5	10.1	-0.6
40	8.4	8.8	-0.4
50	7.8	8.3	-0.5
60	7.7	8.1	-0.4
75※	7.5	7.8	-0.3

※75m→今月は74mの測定値



3. 湖岸水温 (°C)

月(旬)	平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
9月下旬	26.3	23.5	+2.8
10月上旬	24.8	21.8	+3.0
10月中旬	23.5	20.4	+3.1

4. プランクトン沈殿量 (ml/m³)

水層 (m)	10月 平均値	平 年 値	平 年 差
			(平均値-平年値)
0～10	18.2	15.0	+3.2
10～20	3.0	4.0	-1.0
20～40	0.5	1.0	-0.5
40～75	0.1	0.4	-0.3

(プランクトンネットNXX14使用)

5. 表層のプランクトン優占種

○プランクトンネットNXX14による採集(5%中性ホルマリン固定。植物プランクトンは地点Iと地点IV、動物プランクトンは全地点)

植物プランクトンについては、両地点とも*Auracoseira granulata*(アウラコセイラ:珪藻)が細胞数で最も多く認められた。

動物プランクトンについては、全地点でカイアシ類のノープリウス期幼生が個体数で最も多く認められた。



Auracoseira granulata



ノープリウス期幼生

6. DO (溶存酸素濃度: mg/L) 多項目水質計による測定値。

深度 (m)	10月 平均値		平 年 値		平 年 差	
	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)
0.5	8.5	100.6	8.7	99.0	-0.2	(+1.6)
10	8.5	100.4	8.6	97.8	-0.1	(+2.6)
20	7.1	66.7	6.9	69.2	0.2	(-2.5)
30	8.6	75.2	8.0	71.8	0.6	(+3.4)
※75	4.9	41.2	3.8	32.0	1.1	(+9.2)

※75m→今月は74mの測定値